

丸山美由紀／渋谷優花

北アルプス文化センター大ホール/2016年9月4日

ブラームスの「ヴァイオリンソナタ1番」、1楽章の半ば過ぎ、何かが吹っ切れた様な瞬間の訪れ。爾来総てが好転、途惑い躊躇なしの確り主張、自信溢れたメッセージの継続。コンセントレーションの充実、動すことなく維持、よい意味での開き直り。蒸し暑さのイジイジ感、何かのキッカケ覚醒、旋律がクッキリ浮かび上がるよう、雨上がりの爽やかさ。2楽章アダージョ、ヴァイオリンとピアノ、穏やかな応接の創出、ジャストフィットの聴きやすさ。

ブラームスの「スケルツォ」、冒頭からハイテンションの興奮状態、アドレナリン全開の興奮度マックス。溜めた情熱の吐き出し、ポジでドラマチックに演出、雰囲気に陶酔。形振り構わず、猪突猛進、少しの乱れ荒さは仕方なし。疾風迅雷・紫電一閃、ヴァイオリニストにはそれらがイノチ。

モーツアルトの「ヴァイオリンソナタK.378」、流れるようにスムーズと、ごく自然にカッシリ融合、ありのままでの真摯な取り組み。天使に魂を捧ぐ、無味乾燥の無機質タッチ、作曲家を意識してのトレンドはなし。2楽章、厳選された音のシンプルな配列、お互いに注意深く絡み合わせ、美しさを醸し出す、素敵なアンサンブル。(2016.9.7)

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 2番 ニ短調 BWV1004 から
アルマンド

モーツアルト／F.サイ：トルコ行進曲

モーツアルト：ヴァイオリンソナタ 34番 変ロ長調 K.378

ブラームス：スケルツォ ハ短調 WoO.2

ブラームス：ヴァイオリンソナタ 1番 ト長調 Op.78「雨の歌」
(アンコール)

ブラームス：ハンガリー舞曲 7番 へ長調

ブラームス：ハンガリー舞曲 5番 ト短調